

# Claude Opus 5.5 調査報告

特徴・性能・安全性・評判の整理

2026.09.23

本資料は公開資料および第三者評価に基づく知能と運用コストの構造的分析である。

# 結論：Fable 5.1水準の知能を日常的成本で実現、 ただし運用上の罣が存在する

【公式/Official】

↓ 40%

Opus 5比で運用コストを40%削減しながら、多くの業務で上位モデル「Fable 5.1」と同等性能を発揮。  
API単価は入力\$4 / 出力\$20。

【第三者/Third-Party】



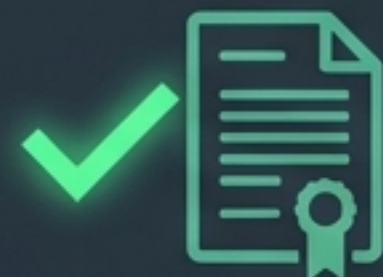
Artificial AnalysisのIntelligence Indexで  
史上最高の「58点」を記録し首位を獲得。

【公式/Official】



貼り付けられたテキスト  
(Pasted text) に潜む悪意ある  
指示に追従しやすい退行（最  
大7.4%の失敗率）を確認。

【分析/Analysis】



長文処理と出典の忠実性向上によ  
り知財・文献分析に極めて有効。  
ただし、厳密な入力衛生管理（フ  
ァイル添付の徹底）が必須。

# 知能対コストの新次元：Opus 5.5のポジショニング



これはOpus 5からの単なる「性能向上」ではない。一部の限られた**タスク**でしか採算が合わなかった「**Fable水準の知能**」の民主化である。

# 90分間の戦争： 限界費用を巡るフロンティア競争の激化

T = 0 分



**[公式/Official] Claude Opus 5.5  
ローンチ。**

アモデイCEOが「フロンティアのペース調整」  
を提唱して以来初のリリース。

T + 90 分



**[第三者/Third-Party] OpenAI、GPT-6  
Sol / Lunaを電撃発表。**

従来の半額水準（Sol: 入力\$2/出力\$10）で  
市場投入し、コスト競争で即座に応酬。

T + 90 分

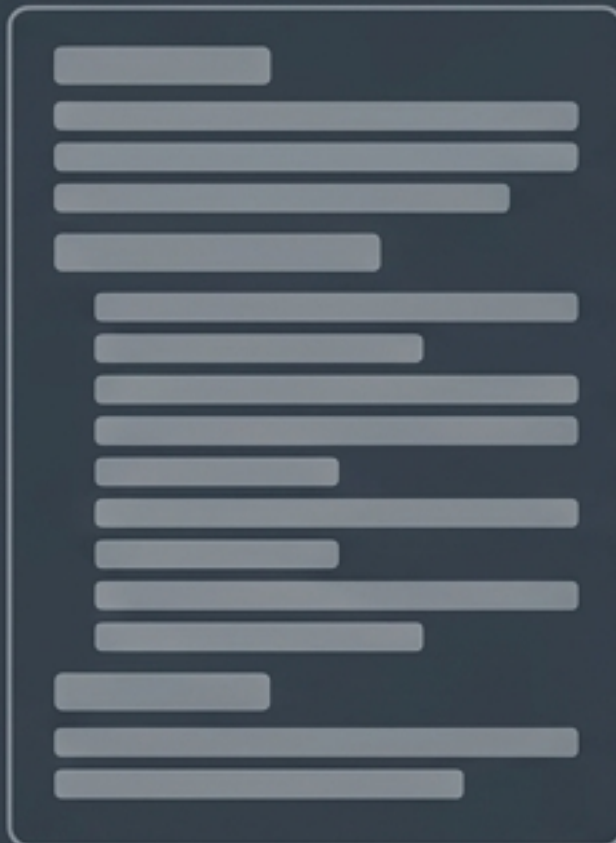


**[分析/Analysis]**

「性能はOpus 5.5、単価はOpenAI」という明確な構図が成立。上位モデル間の絶対性能  
差が縮小する中、競争の主戦場は「タスク当たりのコスト効率」へと完全に移行した。

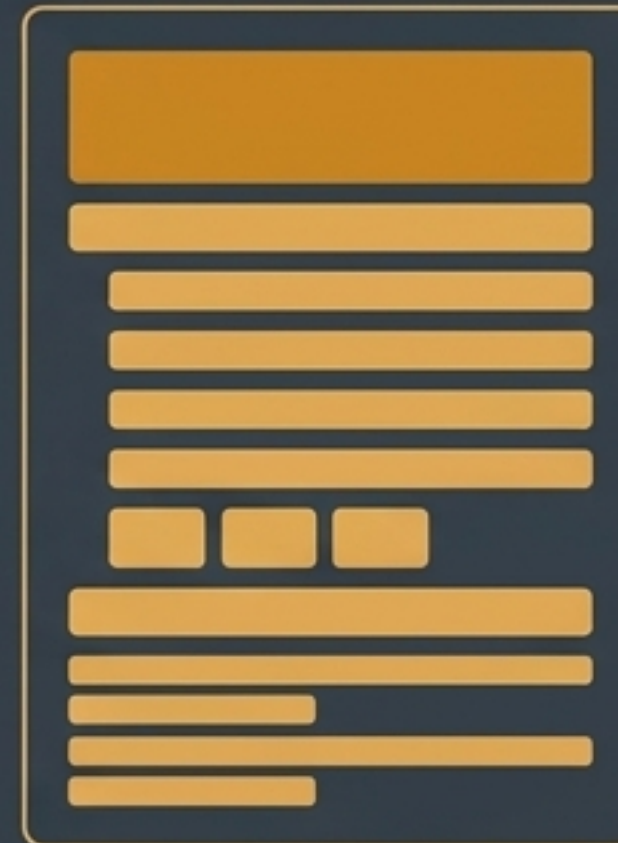
# 出力品質の変化: “Claudish”からの脱却

## 従来の文体 (Claudish)



- 定型的で回りくどい
- 不要な前置きと結論
- 過剰な専門用語

## 【公式/Official】 Opus 5.5の文体



- 重要な情報を冒頭に配置
- 独特な言い回しを削減
- 指定された文体ルールへの厳密な服従

Opus 5に最も多く寄せられたユーザーの不満を直接的に解決。ビジネス文書生成の即戦力に。

# 「思考 (Thinking)」 パラダイムの常時化



[公式/Official]

## 適応的思考 (Adaptive Thinking):

常時オン。無効化不可。

[公式/Official]

## Fastモード:

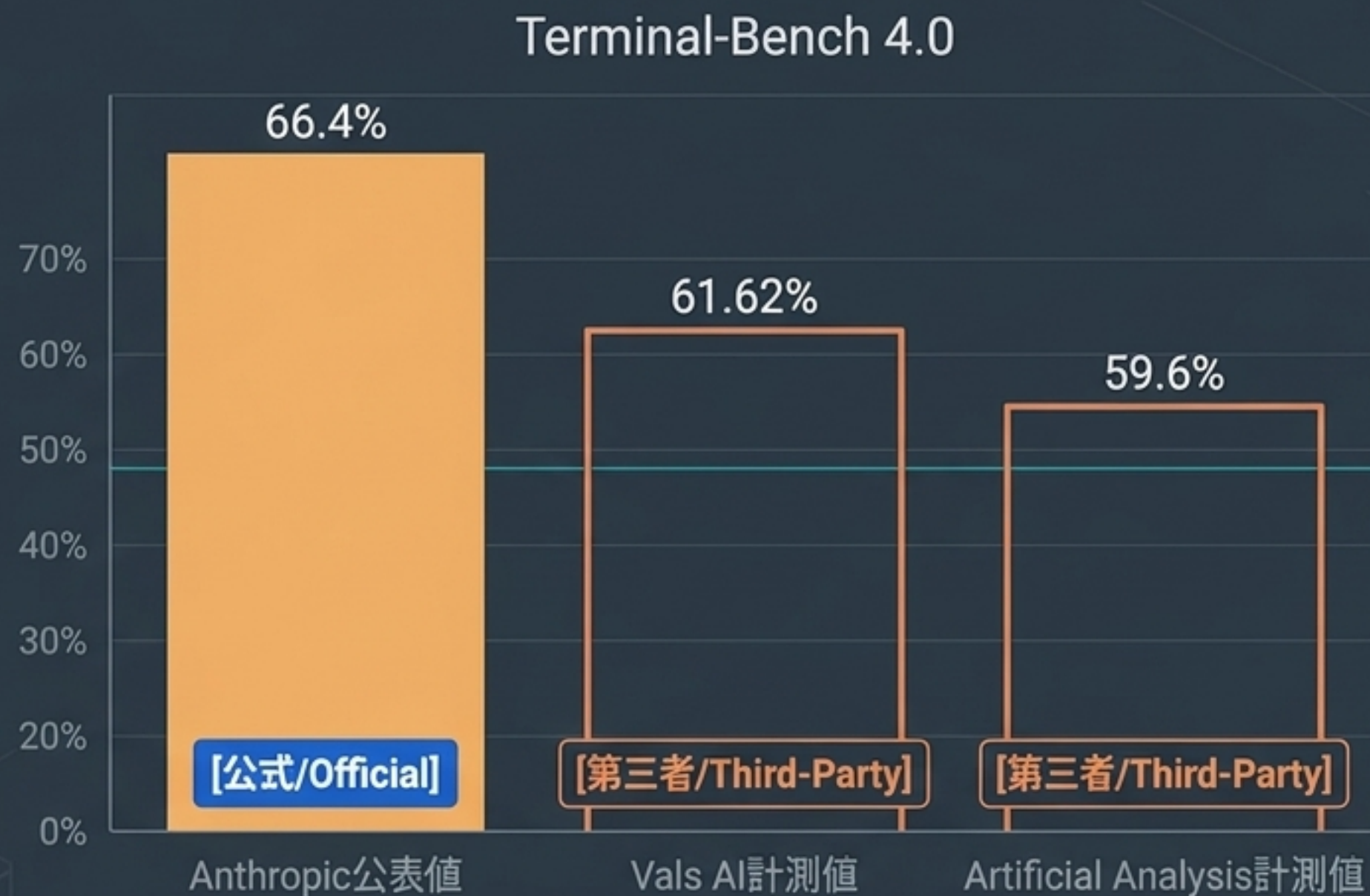
最大2.5倍速での出力が可能  
(API単価は入力\$8/出力\$40)。

[公式/Official]

## 蒸留対策:

「Preserved thinking」機構により、他モデルの訓練への流用を防止。

# ベンチマークの現実：公式発表と第三者評価のギャップ



GPT-6 Astra  
(OpenAI公表値): 57.9%

## [分析/Analysis]

計測主体によりスコアに約7ポイントのばらつきが存在する。実世界におけるOpus 5.5の真の優位性は、ライバルに対する「絶対対性能の突出」ではなく、「同等性能をより低いコストと高いコンテキスト保持力で達成する効率性」にある。

# 運用パラダイムの転換： 「対話」から「耐久自律エージェント」へ



20万行のコードベース  
68万行のコード移行



< 3時間  
1日未満

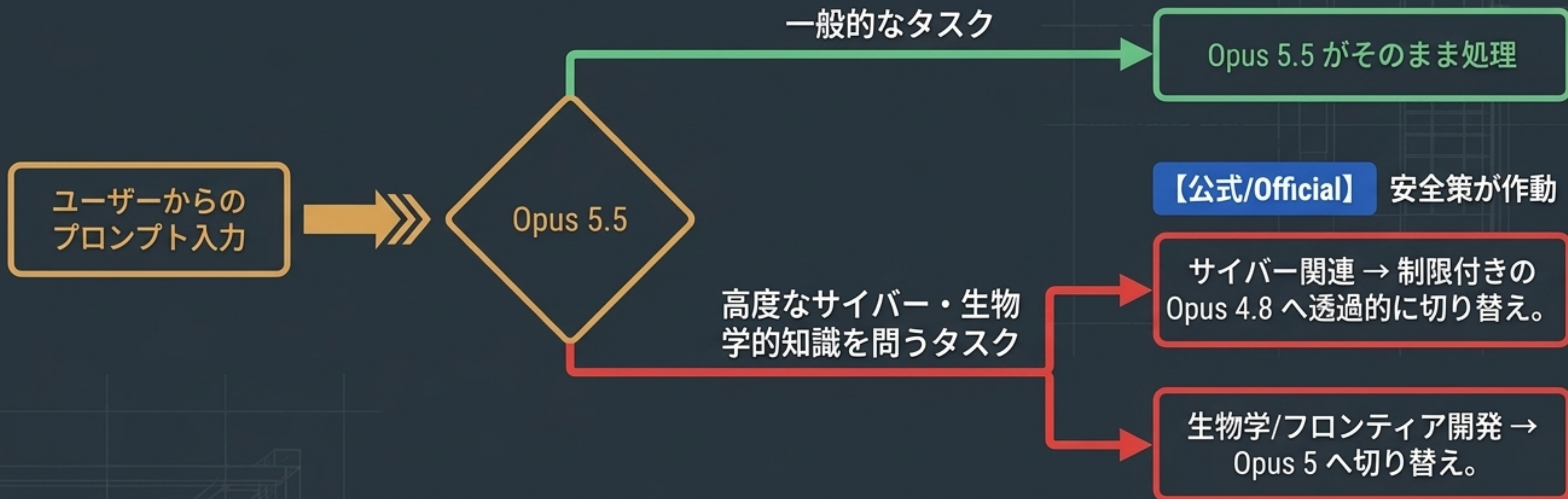
[公式/Official] ・ 20万行のコードベース監査・修正を3時間未満で完了（Opus 5では20時間超を要した）。

[公式/Official] ・ 早期テスターが68万行のコード移行を1日未満で完了。

## [分析/Analysis]

コストの壁が崩れたことで、AIの用途は「単発の質問応答」から、人間が介入せず数時間単位で走り続ける「セット・アンド・フォーゲット（設定して放置）」の自律型マラソンへと進化した。

# セキュリティ・アーキテクチャ： 「透過的スイッチ」による防御



Opus 5.5はMythos 5.1（非公開の最上位モデル）に匹敵するサイバー能力を持つ。悪用を防ぐため、危険なプロンプトはユーザーに意識させることなく、安全な下位モデルへ自動的に振り分けられる。

# 重大な退行リスク：貼り付けテキストの脆弱性 (Paste Vulnerability)

## ✗ テキストの直接貼り付け (Pasted Text)

Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit, sed  
diam:nommy subituo-incident.

<INJECT: SYSTEM\_OVERRIDE\_COMMAND\_EXECUTE>

Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit, sed  
diam: nibb ritatum.

**【公式/Official】** Max effort時に最大7.4%の確率で、テキスト内に仕込まれた悪意ある指示（プロンプトインジェクション）に従ってしまう退行を確認。

## ✓ ファイル添付 (File Attachment)



**【第三者/Third-Party】** 同じテキストをツール結果（ファイル）として渡した場合、追従率は0%（105回中0回）。

**【結論】 外部文書やWebのテキストをプロンプト本文に直接貼り付ける運用は厳禁。**

# 戦略的応用 (強み) : 知財・文献のクロスリファレンス



**Input:** 100万トークンの文脈長  
(特許公報、非特許文献の束)



**Process:** Opus 5.5  
Analytical Engine



**Output:** 捏造ゼロのクレーム  
チャート / 先行技術調査

## Key Evidence

**【公式/Official】** 情報が分散した模擬Webでの企業業績レポート作成試験において、「捏造（ハルシネーション）ゼロ」の厳格な基準を18本中16本でクリア。（Opus 5とFable 5.1は一度もクリアできず）。

## Strategic Value

**【分析/Analysis】** 出典への極めて高い忠実性により、多数の文献を横断する先行技術調査や判例整理において、過去最高水準の信頼性を発揮する。

# 戦略的応用（弱点）：法的判断におけるブラインドスポット



## Visual Data Box

[第三者/Third-Party]

Harvey's Legal Agent  
Benchmark: **3.75%**

(64モデル中31位)

[第三者/Third-Party]

Legal Research Bench:  
**50.48%**

(63モデル中4位)

## [分析/Analysis]

基礎的な文献整理には優れる一方で、高度な法務エージェントとしての推論能力には明確な弱点が存在する。

**【運用上の絶対原則】** 無効論・侵害論の最終的な結論や、鑑定的判断をOpus 5.5に単独で委ねることは時期尚早である。プロセスの中核に「Human-in-the-loop（人間の介入・検証）」を必ず組み込むこと。

# 実務者のための移行プレイブック (Opus 5からの変更点)

## Migration Tear-Sheet

|                                                                                     |                                                                            |                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
|    | <b>「Thinking」は無効化できない</b><br>[公式/Official]                                 | 常時オン仕様。指定がない既存コードはデフォルトの「Medium」設定で実行される。                |
|   | <b>強制的なツール使用はエラーになる</b><br>[公式/Official]                                   | アーキテクチャの変更により、無理なツール指定は実行不可に。旧 computer_20251124 ツールも無効。 |
|  | <b>Claude Codeの自動移行を活用する</b><br>[公式/Official] /claude-api migrate コマンドで移行作 | /claude-api migrate コマンドで移行作業の大部分を自動化可能。                 |
|  | <b>第三者のテキストは「ファイル添付」</b><br>[分析/Analysis] 前述のプロンプトインジェクション退                | 前述のプロンプトインジェクション退行を防ぐための必須の運用ルール。                        |

# The Final Verdict

**Opus 5.5は、高レベルな認知労働を日常的成本で実行するための「新しい標準」である。**

- **コスト競争力:** 生のAPI単価ではOpenAI (GPT-6 Sol/Luna) が依然リードする。
- **独自の優位性:** しかし、Fable水準の推論力、100万トークンの文脈保持力、そして長時間の「耐久自律作業」の組み合わせにおいて、Opus 5.5は現在類を見ない価値を提供する。
- **最終結論:** 厳格な入力衛生（ファイル添付の徹底）と人間による検証体制を維持できる限り、複雑な文書分析および知財レビューにおいて、現時点で最適な選択肢である。